

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

人を通じて、喜びを作り、幸せを作る。地域を問わず全ての人が、心豊かに、能力や個性を発揮できる社会の実現

法定雇用率
2.5%

法定雇用率
2.7%

精神疾患患者総数
603万人

精神病床削減目標
3.3万人

② 中長期の経営戦略

1. 障がい者雇用支援の強化

農園での水耕栽培設備を活用した安全な就労環境整備。事業主の能力開発責務支援。サービス利用企業・雇用人数の拡大。特に精神障がい者の定着率向上に注力

3. 地方への農園展開

開設候補地の障がい者雇用状況、手帳保有者数、交通利便性を考慮した新規農園開設

2. 精神障がい者対応の拡大

精神科領域の在宅医療ノウハウ活用。農園近隣の訪問看護ステーション設置（2019年9月開始）。訪問看護利用者の就労機会創出

4. 観光物産事業の振興

コロナ収束後の修学旅行生誘致と個人観光客誘客。民泊受入家庭の拡大。新体験プログラムの開発

③ 対処すべき課題

① 都市部の障がい者雇用不足

- ・法定雇用率未達成企業が全国で63,364社。東京都は30.5%しか達成
- ・身体障がい者の高齢化進展で10年で10万人以上が退職見込み
- ・除外率制度廃止による雇用不足拡大の懸念

② 精神障がい者の就労課題

- ・新規求職申込件数が身体・知的障がい者合計を上回る。精神障がい者は雇用割合が22%と低い
- ・就職後1年経過の職場定着率が49.3%と低水準。企業の採用躊躇

③ 精神医療の地域移行への対応

- ・入院患者減少、在宅医療需要拡大。医療機関と看護師のコミュニケーション体制強化が必須
- ・複数地域の患者への効率的訪問看護体制と医師との情報連携の質が問われる

面接で使えるポイント

- ・障がい者法定雇用率2.5%（2024年4月）や2.7%（2026年7月）への引き上げに対応し…
- ・精神疾患患者603万人時代に入院から在宅医療へのシフトが進む中で…
- ・五島市の人口2万人確保目標に向けた観光物産事業の振興や地方創生を通じて、都市と地方の就労機会の不均衡解消に取り組みたい

証券コード 150A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

医療・福祉分野でサービスを提供する企業

主力事業・セグメント

- ・地域Revitalization 69.0%
- ・住宅ケアMedicine 31.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
47億円営業利益率
▲2.2%財務健康度
56点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 34.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
349万円

サービス業内 521位/524社

平均年齢
41.6歳

サービス業内 143位/527社

平均勤続
2.61年

サービス業内 484位/527社

女性管理職
46.1%

サービス業内 34位/371社

男性育休
133.0%

サービス業内 7位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

